

Growing Together  
ともに挑む。

# 2018年3月期 第2四半期 決算説明会

2017年11月15日

代表取締役社長 田村 博之



ユアサ商事株式会社

# 連結損益計算書の概要

Growing Together  
ともに挑む。

(単位：億円)	2017年3月期	2018年3月期	前年同期比 増減率	業績予想	予想 対比
	第2四半期 実績	第2四半期 実績		2017年5月 発表	
売上高	2,031	2,136	+5.2%	2,150	▲0.6%
売上総利益	193	203	+5.5%	-	-
(売上総利益率)	9.51%	9.54%	+0.03ポイント	-	-
販売費及び一般管理費	157	158	+0.5%	-	-
営業利益	35	45	+27.3%	38	+17.6%
(営業利益率)	1.76%	2.13%	+0.37ポイント	-	-
経常利益	39	49	+25.7%	42	+17.1%
(経常利益率)	1.94%	2.32%	+0.38ポイント	-	-
税金等調整前 四半期純利益	40	49	+22.2%	-	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	27	34	+29.1%	28	+22.9%

※億円未満切り捨て

# セグメント別 売上高（前年同期比）



（単位：億円）	2017年3月期 第2四半期実績	2018年3月期 第2四半期実績	増減額	前年同期比増減率	前年同期比増減率 1Q（4-6月）	前年同期比増減率 2Q（7-9月）
産業機器	318	338	+20	6.1%	6.1%	6.1%
工業機械	486	506	+20	4.2%	1.4%	6.1%
住設・管材・空調	616	677	+61	10.0%	16.1%	5.2%
建築・エクステリア	212	232	+20	9.6%	11.5%	7.9%
建設機械	170	162	▲ 8	▲ 5.2%	▲ 2.9%	▲ 6.3%
エネルギー	113	115	+2	1.3%	5.5%	▲ 2.6%
その他	113	103	▲ 10	▲ 8.5%	▲ 12.7%	▲ 4.7%
合計	2,031	2,136	+105	5.2%	7.0%	3.8%

産業機器	自動車、航空機、半導体関連産業の工場稼働率が堅調に推移
工業機械	国内：自動車、半導体関連産業の設備投資が底堅く推移 海外：メキシコ、ベトナム、中国が堅調、東南アジア諸国の景気回復継続
住設・管材・空調	リフォーム需要向けの住宅設備機器や管材・空調商品の販売、蓄電池・パワコンの拡販
建築・エクステリア	公共投資が堅調、耐震・免震材、防災倉庫などのレジリエンス製品の拡販
建設機械	期の前半にレンタル業者の新規設備投資が減少
エネルギー	一般石油製品・潤滑油等の新規開拓、新商材による拡販
その他	消費財：夏場の天候不順による季節家電の販売低調 木材事業：輸入材の販売低調

# 連結損益計算書 (利益)

(単位：億円)	2017年3月期	2018年3月期	前年同期比 増減額 (増減率)
	第2四半期 実績	第2四半期 実績	
売上総利益	193	203	+10(+5.5%)
売上総利益率	9.51%	9.54%	+0.03ポイント
販売費及び一般管理費	157	158	+1(+0.5%)
営業利益	35	45	+10(+27.3%)
営業外収益 (受取利息、配当金、他)	9	9	±0
営業外費用 (支払利息、他)	6	5	▲1
経常利益	39	49	+10(+25.7%)
特別利益	1	0	▲1
特別損失	0	0	±0
税金等調整前 四半期純利益	40	49	+9(+22.2%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	27	34	+7(+29.1%)

※億円未満切り捨て

# セグメント別 営業利益（前年同期比）



（単位：億円）	2017年3月期 第2四半期実績	2018年3月期 第2四半期実績	前年同期比 増減額（増減率）
産業機器	7.5	9.8	+2.3(29.9%)
工業機械	18.5	20.1	+1.5(8.2%)
住設・管材・空調	18.6	20.4	+1.8(9.9%)
建築・エクステリア	4.8	6.9	+2.1(43.5%)
建設機械	3.7	4.6	+0.9(22.5%)
エネルギー	0.5	0.6	+0.1(1.3%)
その他	1.1	0.5	▲0.6(▲8.5%)
全社費用消去等	▲19.3	▲17.6	+1.7(-)
合計	35.7	45.5	+9.8(27.3%)

# 連結貸借対照表



(単位：億円)

	2017年3月期	2018年3月期 第2四半期	増減額	主な増減要因
流動資産	1,759	1,723	▲36	売上債権▲50 たな卸資産+15
固定資産	410	417	+7	投資有価証券+13
資産合計	2,169	2,141	▲28	

流動負債	1,460	1395	▲65	仕入債務▲54 (短期借入金±0)
固定負債	61	65	+4	
純資産	648	679	+31	利益剰余金+23
負債純資産合計	2,169	2,141	▲28	

自己資本比率	29.6%	31.5%
--------	-------	-------

# 連結キャッシュフローの状況



(単位：億円)	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	前年同期比
営業活動による キャッシュ・フロー	56	14	▲42
投資活動による キャッシュ・フロー	▲32	▲7	+25
財務活動による キャッシュ・フロー	▲25	▲12	+13
現金及び現金同等物 に係る換算差額	▲3	▲0.3	+2.7
現金及び現金同等物の増減額	▲5	▲5	±0
現金及び現金同等物の期首残高	304	332	+28
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	1	-	▲1
非連結子会社との合併による現金及び 現金同等物の増加額	0.6	0.7	+0.1
現金及び現金同等物の期末残高	300	327	+27

※億円未満切り捨て

# 2018年3月期 連結業績予想



(単位：億円)	2018年3月期 通期予想 (前年同期比)
売上高	4,650 (+4.2%)
売上総利益	450 (+5.5%)
(売上総利益率)	9.7%
販売費及び 一般管理費	337 (+6.1%)
営業利益	113 (+3.7%)
(営業利益率)	2.4%
経常利益	120 (+2.5%)
(経常利益率)	2.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益	80 (+3.4%)

セグメント	2018年3月期 通期予想 (前年実績比)		
産業機器	売上高	682	+5.5%
	営業利益	19.9	+22.8%
工業機械	売上高	1,162	+5.5%
	営業利益	49.7	+5.3%
住設・管材・空調	売上高	1,474	+6.0%
	営業利益	54.4	+4.8%
建築・エクステリア	売上高	528	+7.8%
	営業利益	16.5	+18.7%
建設機械	売上高	350	▲0.4%
	営業利益	9.7	+10.2%
エネルギー	売上高	237	▲9.8%
	営業利益	2.4	+26.3%
その他	売上高	216	▲1.8%
	営業利益	▲1.6	▲69.6%
合計	売上高	4,650	+4.2%
	営業利益	113.4	+3.7%

# ユアサ商事グループ新中期経営計画

2017.4 – 2020.3

# Growing Together 2020

ともに挑む。



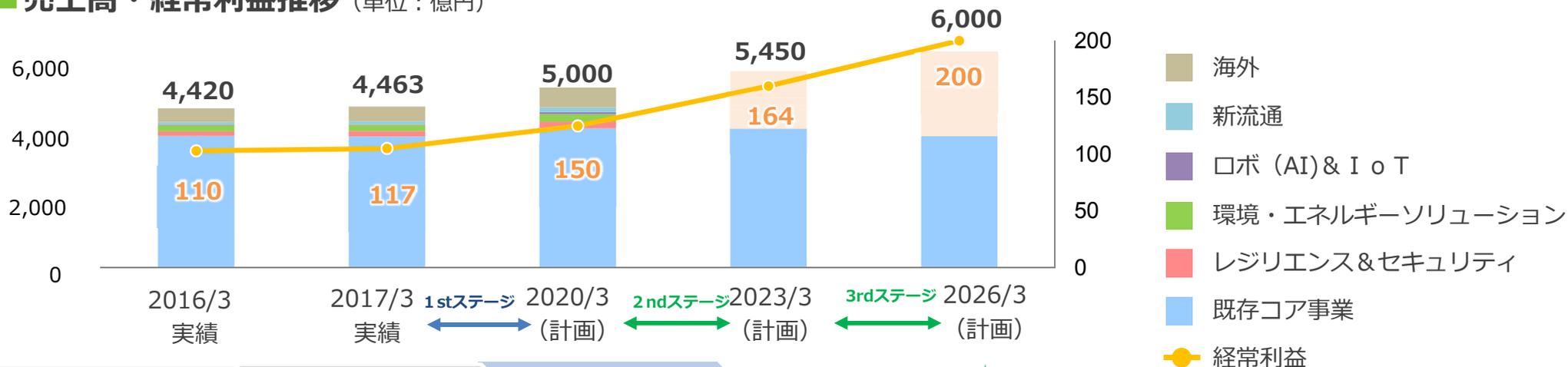
ユアサ商事株式会社

# ユアサビジョン360（9年後（創業360周年）のビジョン）

Growing Together  
ともに挑む。

業界トップレベルの収益構造を持つ複合専門商社グループへの成長を目指します。

## ■ 売上高・経常利益推移（単位：億円）



### 【新中期経営計画「Growing Together 2020」】 - 「コア事業の機能強化」と「成長事業の再強化」 -

**2020年 定量目標** 売上高：5,000億円・経常利益：150億円  
 経常利益率：3.0% 売上高目標

**成長事業 戦略**

①海外事業	： 550億円
②新流通事業	： 130億円
③ロボ (AI) & I o T事業	： 50億円
④環境・エネルギーソリューション事業	： 200億円
⑤レジリエンス&セキュリティ事業	： 190億円
計1,120億円	

**経営指標** ROE:12.2%・株主還元率：33.0%  
 （年間投資枠：当期純利益の1/3）

### 【ユアサビジョン360】（9年後（創業360周年）のビジョン） 業界トップレベルの収益構造を持つ専門商社グループへと成長する

**2026年 定量目標** 売上高：6,000億円・経常利益：200億円  
 経常利益率：3.3%

**成長事業 戦略** 中期経営計画の第1ステージである  
 「Growing Together 2020」の進捗や事業環境の変化に応じて、第2ステージ（2020年～2023年）、第3ステージ（2023年～2026年）にて新たな成長事業の追加を含めたローリング（見直し）をすすめてまいります

**経営指標** ROE:11.7%・株主還元率：33.0%  
 （年間投資枠：当期純利益の1/3）

## ① コア事業の機能強化 ② 成長事業の再強化 ③ 経営基盤の強化

### ありたい姿

お取引先様と「ともに」成長分野・事業を開拓し、「ともに」成長する

#### ① コア事業の機能強化

##### 既存機能の強化

- 【エンジニアリング機能】  
自動化ライン対応力強化に向けたエンジニアリング機能強化  
当社グループで対応できる工事種別のフルラインナップ化
- 【ロジスティック機能】  
I Tを活用したロジスティック機能の全国展開

##### 新機能の開発

- 【情報発信機能】  
業界トップレベルの商品検索サイトによる商品情報の発信

#### ② 成長事業の再強化

##### グローバル成長

- 【東南アジア&米国】生産財販売事業でのシェア拡大
- 【中国】自動化ライン対応力強化
- 【東南アジア】環境エンジニアリング事業強化
- 【東南アジア】建機販売事業強化

##### 国内成長分野の開拓

- 【ロボ（A I）& I o T】（※1）S I機能を発揮
- 【環境・エネルギー】（※2）Z E H分野に注力
- 【レジリエンス&セキュリティ】  
セキュリティ&社会インフラ分野に注力
- 【新流通】販売先様との電子商取引事業の拡大  
（※1）システム・インテグレーション （※2）ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス

#### ③ 経営基盤の強化

- 人材育成 : 次期マネジメント人材の選抜・採用・育成強化  
: あるべき「働き方改革」の実行、多様な人材活用（女性活躍推進）
- 情報インフラ: 業務の効率化と生産性向上のための情報インフラ整備
- 自己資本比率のさらなる充実 ● 内部統制機能のさらなる強化

「機能強化」と「成長事業強化」をさらに追求。  
9年後（2026年・創業360周年）のありたい姿に到達するために  
収益構造を改革する第1ステージとします。

－「コア事業の機能強化」と「成長事業の再強化」－

## Growing Together 2020 ともに挑む。

定量目標	2017年3月期実績	2018年3月期計画	2020年3月期計画
売上高	4,463億円	4,650億円	5,000億円
営業利益	109億円	113億円	142億円
営業利益率	2.4%	2.4%	2.8%
経常利益	117億円	120億円	150億円
当期純利益	77億円	80億円	100億円
ROE	12.9%	－	12.2%
株主還元率	27.0%	27.5%	33.0%

# 成長事業①「海外事業」

売上高実績・目標（億円）

## 工業・環境・建設の3分野で海外事業を拡大

550

154

2018/3  
第2四半期実績

2020/3  
目標

### 工業分野

- ◆ 東南アジア・北米で現地法人を核に生産財販売のシェア拡大

- ▶ ベトナム  
ローカルユーザー・新規顧客への販売拡大に注力
- ▶ 中国  
ロボット・自動化設備、工場環境商品の販売推進
- ▶ メキシコ  
自動車業界の新規ユーザー開拓に注力
- ▶ タイ・インドネシア  
プライベートショーを開催  
タイ：455名来場、計7億円の商談  
インドネシア：169名来場、計2億円の商談

- ◆ 海外ローカル企業への販売体制の強化

- ◆ 東南アジアでのロボットエンニアリング機能強化

タイのプライベートショーの様子



### 住環境分野

- ◆ JCM制度※を活用した省エネ支援事業を拡大

※途上国において温室効果ガスの排出削減を行う事業者に対して環境省が補助を行う支援事業。

- ▶ タイ
  - ・精密部品工場に空調制御システムを導入（2016年度JCM採択）
  - ・食品工場へバイオマスコージェネレーション設備の導入（2017年度）
- ▶ ベトナム  
ゴム製造工場における高効率ターボ冷凍機の導入（2017年度）

### 建設分野

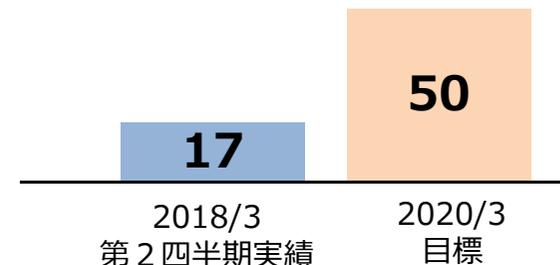
- ◆ マレーシアの現地法人を核に、東南アジアで産業用レンタル商材や建設機械の販売を拡充



# 成長事業②「ロボ（AI）&IoT事業」

売上高実績・目標（億円）

## ロボット・IoTによる自動化・省人化の提案



### 工業分野

- ◆生産ラインの自動化ニーズに応える産業用ロボットのご提案
- ◆ロボットエンジニアリング会社を活用した、エンジニアリング機能（システム提案・設計・構築・アフターサービス等）の強化
- ◆「追従運搬ロボット」を、様々な分野でご提案



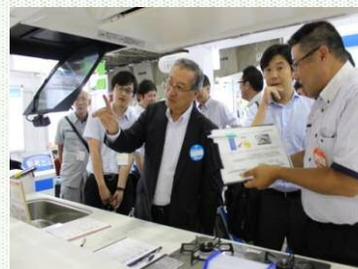
人との協働ロボットの提案



追従運搬ロボットの実演

### 住環境分野

- ◆IoT搭載機器の販売拡大（遠隔監視システム、故障予知 他）
- ◆IoTと住宅設備機器を連携させたオリジナル商品の開発



触れずに端末の操作ができる空中ディスプレイ技術を利用したキッチンの活用提案

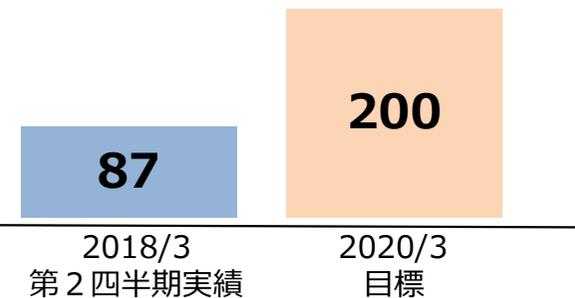
### 建設分野

- ◆「パワーアシストスーツ」を建設現場や福祉施設・物流倉庫等様々な分野へご提案しています



パワーアシストスーツの装着体験

## ハードとソフトの両面から提案



### 住環境分野

#### ◆太陽光発電・蓄電システムの パッケージ提案を推進します

- 大型倉庫とのパッケージ
- 農地におけるソーラーシェアリング
- 様々な屋根材との一体型提案



太陽光発電+蓄電池の一体型倉庫



ソーラーシェアリング

#### ◆ZEH(ネットゼロエネルギー住宅) 訴求および商材の拡販を推進します

- オリジナル「HEMS」開発
- メーカー横断によるパッケージ提案
- 提案用映像やソフトの作成・開発

### 工業分野

#### ◆工場内の環境改善や省エネに貢献 する設備・機器のシステム販売を 推進します



LEDや蓄電池等を提案

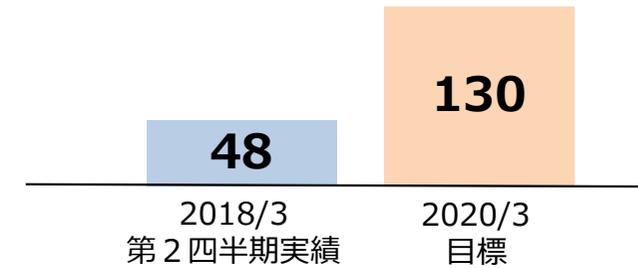
### 建設分野

#### ◆ソーラー街路灯など蓄電池搭載 関連商品の販売を推進します

- メーカーと協力しオリジナル  
街路灯を発売



## 新商品検索サイト構築により トレードビジネスを強化



新商品検索システム「Growing Navi」（2018年5月稼働予定）と「Web Yours※」（当社電子商取引システム）の連携により、情報発信機能の強化と電子商取引事業を拡大します

※「Web Yours」  
当社の販売先さまが、パソコンから商品の発注ができる  
Web発注システム



◆切削工具、マテハン機器、住設機器・管材  
・空調機器、建設機械、エクステリア など  
多岐にわたる品揃え

◆キーワード検索はもちろん、型番検索や、  
カテゴリ検索、スペック検索など様々な検索  
機能により、「はやい」「見つかる」「何でも  
そろ」を実現します

# 成長事業⑤レジリエンス&セキュリティ事業

売上高実績・目標（億円）

## 社会インフラの強靱化につながる提案営業

66

2018/3  
第2四半期実績

190

2020/3  
目標

### 建設分野

- ◆レジリエンスステーション（防災倉庫＋備蓄品）の提案営業を推進します。
- ◆耐震補強商材の拡販
- ◆蓄電池、自家発電設備の販売・提案
- ◆道路、橋梁、公園など社会インフラの補強・補修商品の拡販



### 工業分野

- ◆工場等のBCP対策として、各種耐震グッズの提案を推進
- ◆セキュリティ対策として各種検査装置、監視カメラシステムの提案を推進



X線を利用した異物検査機

### 住環境分野

- ◆住宅・マンション・事務所等のあらゆる場面を想定した、セキュリティ商材の提案を推進します



## レジリエンス

- ◆「ジャパン・レジリエンス・アワード」  
3年連続受賞

レジリエンス社会構築への先進的な取り組みを発掘、評価、表彰する制度です



- ◆レジリエンスリーダー研修を定期開催

全国から選抜・育成し、各地の取引先に向け「レジリエンス」の普及促進活動を行っております



# コア事業の機能強化



各事業において業界No.1のマーケットポジションを目指します。

## 産業とくらしの「グランドフェア」

- ◆販売先さまの会「やまづみ会」が主催し、仕入先さまの会「炭協会」と当社が三位一体になって全国5カ所で開催する「グランドフェア」



グランドフェアの受注高・ご来場者推移

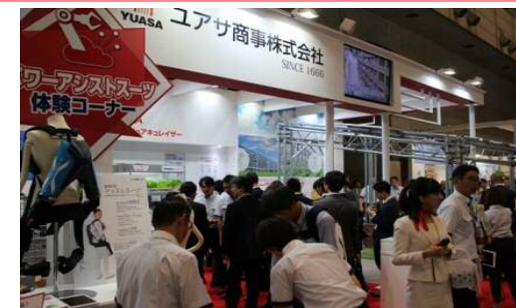
## エンジニアリング、ロジスティック機能

- ◆施工（工事）機能、自動化・ロボットエンジニアリング機能の強化
- ◆ITを活用した物流基盤の更なる強化

## 新たなマーケットへの挑戦

- ◆コア事業で培った商品ラインナップを活かして、マーケット拡大を目指し、新たに農業分野のチャネル開拓に着手しました

「第7回農業ワールド」へ出展



# 経営基盤の強化

## 人材の育成

- ◆次期経営層の人材育成プログラムを開始
- ◆二つの女性活躍検討プロジェクトを開始  
(①女性総合職②子育て中の女性社員)
- ◆海外トレーニー制度
- ◆環境インストラクター研修
- ◆レジリエンスリーダー研修



## 情報インフラの整備

- ◆ITを活用した「働き方改革」の実行（仮想デスクトップ導入検討、グループウェア刷新）
- ◆営業支援ツールを用いた業務の効率化・生産性の向上の取組み
- ◆会計システムの刷新
- ◆ECシステム（新Web yours）の再構築

## 経営効率・財務体質の強化

- ◆ROE目標 12.2%（2020年3月期）
- ◆自己資本比率の充実  
実績：29.6%(2017/3末) ⇒ 31.5%(2017/9末)

## ガバナンスの強化

- ◆グループ会社の内部統制強化の取り組む

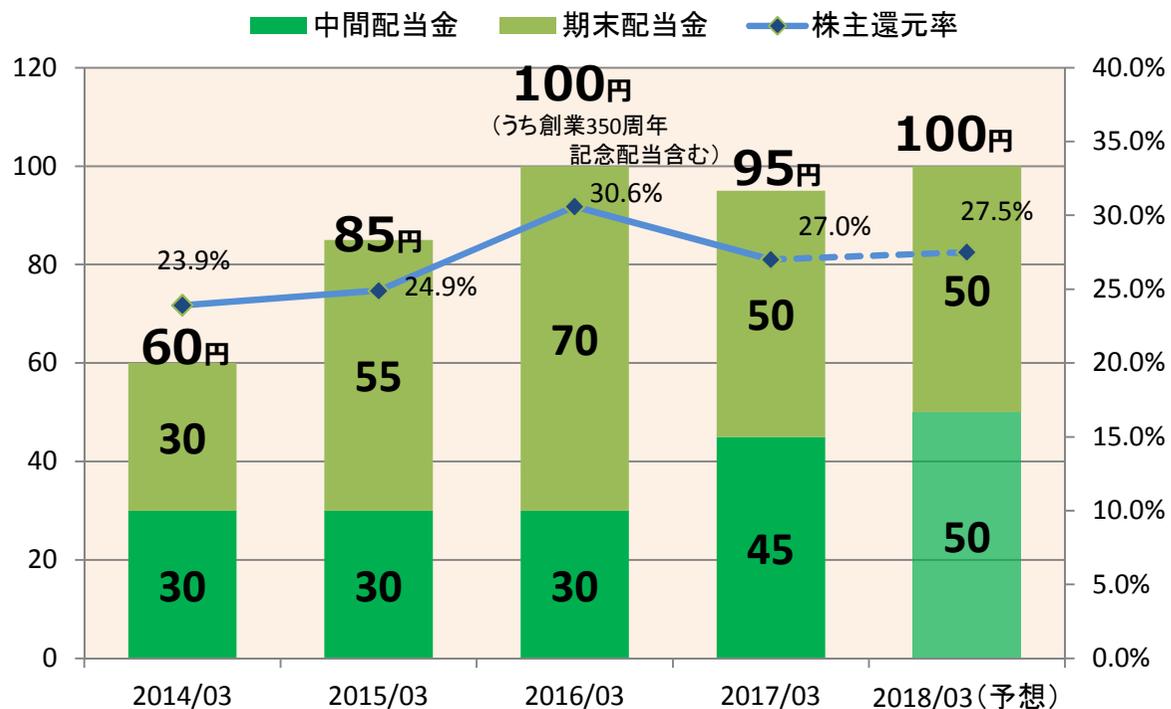
## 株主還元

- 財務の健全性を維持しつつ、事業活動を通じて創出した利益を成長分野へ投資することにより、1株当たり当期純利益を増大させ、株主価値の向上を図ります。
- 継続的かつ安定的な配当を実現します。
- 株主還元率33%以上を目標とします。

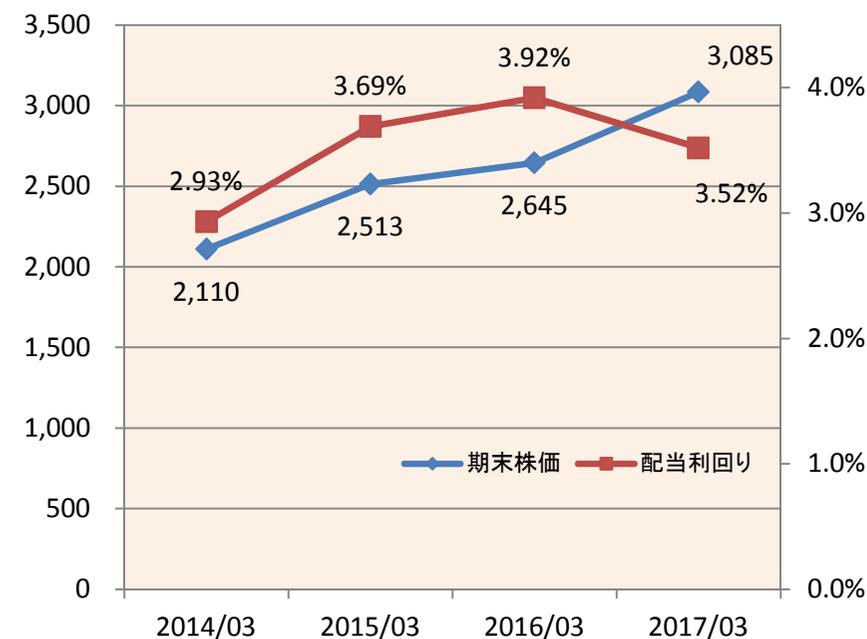
### ※成長事業投資

- ・新事業への投資、M&Aの活用、人材育成投資、IT&ロジスティックへの投資
- ・年間投資枠：当期純利益の1/3

1株当たり配当金と株主還元率の推移（単位：円）



配当利回りと株価の推移



◆本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に含まれる当社の将来における計画、戦略、業績に関する見通しの記述については、当社が同日の段階で把握可能な情報から判断したもので、不確定要素を含んでおります。

これらの見通し等は、内外の政治経済情勢、主要市場における需要動向の変動、諸制度の変更など様々な重要な要素により実際の業績と異なる結果となることがあります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。

また本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

◆本日のプレゼンテーションの中には、弊社の予想、確信、期待、意向および戦略など将来の予測に関する内容が含まれています。

これらは弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性など様々な要因によって、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があります。

弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。



**ユアサ商事株式会社**

総合企画部

〒101-8580 東京都千代田区神田美土代町7番地

TEL. 03-6369-1133 E-mail. [souki@yuasa.co.jp](mailto:souki@yuasa.co.jp)